

関西地方 日本墓石店100選の旅

日本墓石店百選会報

第01号
発行
株式会社ギブリー

日本石材産業協会 近畿地区全体会議と「字彫り」勉強の旅



東京でも蝉の鳴き声があちこちで聞こえてきました。時頼、降る雨が涼しく感じられます。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。さて、先月14、15、16日、関西地方に行つて参りました。初日の14日は祇園祭「宵宵宵山」で、京都市街は祭りムード。そんな中、四條にある「からすま京都ホテル」にて行われました。こうして石産協さんにも加入させていただき、会にも参加させていただけるのも、偏に皆様のおかげでございます。感謝申し上げます。

全体会議の企画であるお墓のケンミンショーでは、各県毎から代表者が1名登壇され、各地域でのお墓にまつわる風習や逸話などを披露されました。地域毎で特色があり大変勉強させていただきました。その後は懇親会も行われ、多くの方々とご挨拶をさせていただきました。良い交流を図らせていただきました。バンド演奏などもあり、とても賑やかで楽しいひと時でした。翌日15日は、京都で石重新谷石材株式会社様にご訪問させていただきました。新谷様は建墓もされる傍ら「字彫り」の職人としても活躍されています。字を綺麗に彫ることができなければ完成後のイメージにも大きく関わってきます。そのため新谷様は、代々受け継がれている人の手による字彫りを継承され、一文字ずつ魂込めて、時にはお施主様のお顔も想像されながら、丁寧に彫られることを信条とされていらつしやいます。



新谷様の先々代が彫られた高台寺の石塔



村上石材店様の字彫りの作業場

最終日の16日には大阪で村上石材店株式会社様にお伺いいたしました。大阪市平野区にある工場にて取材をさせていただきました。印象に残ったのはゴム板の型取りを人の手で行われていた点でした。コンピュータを使うことが多いこの工程を、敢えて人の手でされたいらつしやるとのことです。これは、文字の島になつてしまふ部分において、細かい文字ほど人の手で型をとったほうが実際に彫った際に削れたり欠けたりするリスクが少なくなるとのことなのです。つまり、人の手で丁寧に型取りを行うことで、彫った時により洗練された形に仕上がります。このように妥協をせず丁寧に施工を行う「職人魂」は、墓石の建墓をされる際にも同じだと、村上様は仰います。どんな仕事でも真面目に丁寧にという信条が、村上様の穏やかな表情からも感じ取ることができました。今回、関西に訪問ができましたのも、日頃よりご愛顧いただいたいる皆様のおかげだと感じております。今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。(中村裕貴)

【新規加入墓石店紹介】
有限会社篠崎石材店
代表取締役
安達清隆様



北海道・釧路を拠点にご対応可能。●「篠崎石材店の五日一石」・FMくしろ・毎週金曜日14:15～出演中！

【創業二百年の信頼と実績】
北海道・釧路は一年を通して、温度に差が少ない地域です。また、「霧の釧路」とも言われる程、山のほうは霧が非常に多い地域ですね。夏はとも涼しく、お蕎麦がとても美味しいので、ぜひ皆様一度お立ち寄りください。さて、皆様、現状悩まれているかと思いますが、お施主様はお墓に対して知識がない方が殆どですね。私も、折角お墓を建てるのですから、国産・海外産の石材をお見せして、石の特徴や、どれくらい値段なのかをお伝えし、お墓は石によって大きな違いが出て来る事など、お墓を建てるまでと、その後の知識を、ご教授させていただいておられます。お施主様のご希望を第一に考え、お施主様が納得でき、気持ちよくお墓を建てる事こそが、一番の目標としております。

編集後記 (記:菊池康之)

暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今回は「日本墓石店100選会報」第01号を発行させていただきました(祝)！企画はしていたものの、先延ばしになっていましたが、意を決してスタートすることが出来ました。感謝感謝。3日坊主にならないように頑張ってます。また、私事で恐縮なのですが、先月7/7(七夕!)に私、菊池康之は入籍をいたしました。いっても、もう30才ですからね…。それでは今後とも、皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。